

蔡振生 主编

日汉翻译教程

入门篇

北京语言文化大学出版社

日汉翻译教程

入门篇

蔡振生 编

北京语言文化大学出版社

(京)新登字 157 号

图书在版编目(CIP)数据

日汉翻译教程:入门篇/蔡振生编. —北京:北京语言文化大学出版社,1997.

ISBN 7-5619-0540-8

I. 日…

II. 蔡…

III. 日语—翻译—教材

IV. H365.9

责任印制:乔学军

出版发行:北京语言文化大学出版社

(北京海淀区学院路55号 邮政编码 100083)

印刷:北京语言文化大学出版社印刷厂

经销:全国新华书店

版次:1997年2月第1版 1997年2月第1次印刷

开本:850×1168毫米 1/32 印张:4.5

字数:100千字 印数:1—5000册

定价:8.00元

编者的话

《日汉翻译教程·入门篇》是国家汉办1992—1995年教材规划项目，是为日本留学生编写的初级日汉翻译教材。

学完本教材，可以继续学习它的姊妹篇《日汉翻译教程·实践篇》，以提高综合日汉翻译的能力。

一、编写目的

外国留学生学完精读、阅读、听力、口语等汉语课程后，对现代汉语的基本语法只是有了一个初步的了解，有必要找到一种手段，使这种尚不全面、不稳固的认识得以强化，其手段之一就是翻译。

外国人学习汉语的目的是多种多样的。归纳起来，似有两个：一是交际，二是研究。交际，就是利用所学的汉语知识和文化知识，同以中国人为主纳汉语（汉文化）圈的人进行交际；研究，是指以汉语为工具，研究中国的文化、政治、经济、习俗等。翻译是听、说、读、写四种专项语言技能的综合能力。只会专项技能的人，不一定在翻译上得心应手，而会翻译的人，一般来说，在听、说、读、写方面是没有问题的。这样看来，翻译就是达到交际、研究两大目的的金桥了。

二、本书特点

本书具有以下特点：

(一) 突出重点

1. 突出主要语法

汉语的语法庞大繁杂，仅以 15 课的篇幅全面概括是不可能的，也是没有必要的。笔者从句子成分、句子种类入手，精选了最重要、最常用的 15 点编成此书。这 15 点是：主语、定语、状语、补语；动谓句、形谓句、名谓句、主谓谓语句、“是”字句、“有”字句、连动句、兼语句、“把”字句、被动句、比较句。本教材所学习的就是这 15 个语法点的日译汉。

2. 突出日译汉

一般来说，外译（将母语译成目的语）总是比内译（将目的语译成母语）难些。对日本留学生来说，日译汉是他们的重点和难点。本书各部分均以日语单句的形式出现，要求学生正确译成汉语。

3. 突出单句汉译

本教材是初级日汉翻译教材，目的是让学生掌握翻译的基本知识和方法，而非钻研高深的翻译理论与技巧，所以我们选用的全部是单句。这样才符合本书的编写目的和学生的实际水平。急功近利只能适得其反。

4. 突出课堂练习

本书由四部分构成，其中课堂练习是重点之一，在教师的指导下，由学生在课堂上完成。这一部分既是上一部分（“翻译要点”）的实践，又是下一部分（“课外作业”）的示范。每课的“课堂练习”由 10 个句子组成，量

不大，但是要求学生全面理解、正确翻译、尽量记住。

(二) 抓住关键

本书的最大特点，是在“翻译要点”中加进了“日译汉时应该注意的问题”，让学生在简单回顾汉语语法要点后，马上抓住关键：到底怎样汉译。如：“被动句的翻译方法”一课，给学生明确指出三点：①什么时候译出“被”字，②什么时候不译出“被”字，③什么时候被动句转译成主动句。这样，学生就比较容易抓住翻译的关键。

(三) 笔口兼顾

翻译有口译、笔译两种。我们的做法是口笔兼顾，笔译为主。“日常全话汉译”和“翻译要点”中的句子为口译，“课堂练习”、“课外作业”则全部为笔译。

三、体例长度

每课由日常会话汉译、翻译要点、课堂练习、课外作业四部分构成。

“日常会话汉译”共有15个话题，每课1个话题，每个话题平均6—7个句样。本部分的目的是适当练习口译。

“翻译要点”是各部分中的重点，它的内容是本课语法点的简述和汉译时应该注意的问题。汉译时应该注意的问题是全书乃至整个教学的量点，配有详细的说明及例句（日汉对照）。“课堂练习”共有10个句子，要求学生在课堂上完成。目的是趁热打铁，体会“汉译时应该注意的问题”所讲述的、不同语法点情况下的不同翻译方

法，有体验与实践的作用。

“课外作业”是留给学生在课外独立完成的作业，每课有20个句子。

四、进度要求

全书共15课，供一个学期（以一学期20周、每周4学时计算）使用。

进度可灵活掌握，以每周（4学时）学习一课为宜。

书后附录部分为各课翻译要点的译文及练习答案，供教学时参考。

我们希望这本以语法点为线索的教材能把日本留学生带进日汉翻译的大门。欢迎各位同行、读者斧正。

编者

1996年 北京

目 録

| | | |
|------|-----------------|----|
| 第1課 | 主語の訳し方…………… | 1 |
| | (主語的翻譯) | |
| 第2課 | 定語の訳し方…………… | 5 |
| | (定語的翻譯) | |
| 第3課 | 状態語の訳し方…………… | 12 |
| | (状語的翻譯) | |
| 第4課 | 補語の訳し方…………… | 19 |
| | (補語的翻譯) | |
| 第5課 | 動詞述語文の訳し方…………… | 29 |
| | (動詞謂語句的翻譯) | |
| 第6課 | 形容詞述語文の訳し方…………… | 33 |
| | (形容詞謂語句的翻譯) | |
| 第7課 | 名詞述語文の訳し方…………… | 38 |
| | (名詞謂語句的翻譯) | |
| 第8課 | 主述述語文の訳し方…………… | 43 |
| | (主謂謂語句的翻譯) | |
| 第9課 | 「是」字文の訳し方…………… | 47 |
| | (“是”字句的翻譯) | |
| 第10課 | 「有」字文の訳し方…………… | 53 |
| | (“有”字句的翻譯) | |
| 第11課 | 連動文の訳し方…………… | 59 |
| | (連動句的翻譯) | |
| 第12課 | 兼語文の訳し方…………… | 65 |

| | | |
|--------|---|----|
| | (兼语句的翻译) | |
| 第 13 课 | 「把」字文の訳し方 | 71 |
| | (“把”字句的翻译) | |
| 第 14 课 | 受身文の訳し方 | 77 |
| | (被动句的翻译) | |
| 第 15 课 | 比較文の訳し方 | 83 |
| | (比较句的翻译) | |
| 附 录 | 各課のポイントの漢訳と「練習」、「宿題」の答え (各课要点汉译及“练习”、“作业”答案) | 90 |

第1課 主語の訳し方

(第1課 主語的翻译)

■ 日常会話漢訳

① 紹介（介绍）

1. ちょっと自己紹介します。私は日本人で山城と言います。「山」は富士山の「山」で「城」は万里の長城の「城」です。はじめましてどうぞよろしくおねがいします。

（我自我介绍一下。我是日本人，我叫山城。“山”是富士山的“山”，“城”是万里长城的“城”。初次见面，请多关照。）

2. お会いできてほんとうにうれしいです。私は劉です。はじめましてどうぞよろしくおねがいします。

（见到你我很高兴。我姓刘，初次见面，请多关照！）

■ 主語の訳し方

ポイント

一、主語とは

(一) 文の中で誰かあるいは何(もの)かを述べる場合、その対象になる部分は主語と言う。

(二) 日本語の主語は体言(名詞、代名詞、数詞)からなっている。用言(動詞、形容詞、形容動詞)、主述構造、述賓構造なども主語になれるが形式名詞(の、こと、もの)が必要である。中国語では殆んどの実詞(名詞、代名詞、数詞、数量詞、動詞、形容詞)並びに主述構造、述賓構造なども主語となることができる。

二、翻訳の時に注意すべき所

(一) 日本語に訳す時

動詞、形容詞、主述構造、述賓構造からなる中国語の主語を日本語に訳す時、主語と主格助詞「は」或は「が」の間に形式名詞「の、こと」など必要である。

△跑比走快。

(走るのが歩くより速い。)

△身体好比什么都重要。

(体が丈夫なのは何よりだ。)

△吃鱼对身体好。

(魚を食べることは体によい。)

(二) 中国語に訳す時

用言、述賓構造からなる日本語の主語の直後にある形式名詞が往往にして省略され、主述構造の場合、中国語訳によく助詞「的」が必要である。

△泣くのが何の役にも立たない。

(哭一点儿用也没有。)

△太っているのは健康を損う。

(胖对身体不好。)

△言うのはやさしいがやるのは難しい。

(说起来容易做起来难。)

△私の言ったのは昔話だ。

(我讲的是一个古代故事。)

演習問題

1. 部屋がきれいなうえにきちんと整頓されている。
2. 昨日、私はあなたに何回も電話をした。
3. 一、三、五が奇数で、二、四、六が偶数だ。
4. 彼はお金がないのではなくてけちだ。
5. 明日、私は休むが、あなたは？
6. 私が買ったのは冷蔵庫で、彼が買ったのはカラーテレビだ。
7. 中国語が話せるのはとても便利ですね。
8. 誰がシルクロートの旅行に行くか。
9. 3年前、中国でピーエル・カルダンのファッション・ショーが行われた。
10. 行くか行かないかはあなたの自由だ。

課外練習

1. 色の白いは七難隠す。
2. 笑うのは泣くよりよい。
3. 恵理子はどうしても彼と結婚しようとする。
4. 私はあなたたちと一緒に万里の長城へ行きたい。
5. 十月一日は中国の国慶節だが、日本の建国記念日はいつだか。
6. 私の言ったのはそういう意味ではない。
7. 残ったものはみな彼にとっておきましょう。
8. 彼は学者でもないし芸術家でもないし普通の会社員だ。
9. さしみを食べたのはこれが初めてだ。
10. 今年の年末に父は北京見物に来る。
11. 北京は中国の首都だ。
12. 私たちはトルファンを見物した。
13. 1年は365日5時間48分46秒だ。
14. 泳ぐのがとてもよいスポーツだ。
15. 遅いのはよくないが、早すぎるのもいけない。
16. 音楽を聞くのは私の趣味だ。
17. あなたが来るのは一番よい。
18. 東京タワーは320メートルのエッフェル塔よりも13メートル高い。
19. 「林」は二つの「木」からなっている。
20. 飛行機で行くのは速いが、自動車で行くほうは途中の景色が見られる。

第2課 定語の訳し方

(第2課 定语的翻译)

■ 日常会話漢訳

② 買い物(购物)

1. すみません、洋服を買いたいですが、あのねずみ色のスカートを見せて下さい。
(小姐，我买衣服。请给我看看那件灰色的裙子。)
2. これはいくらですか。はかり売りですかそれともばら売りですか。
(这个多少钱？论斤卖还是论个卖?)
3. お待たせしました。150元いただきます。5元のおつりです。どうぞお調べ下さい。
(让您久等了。您这是150块，找您5块，请数好。)

■ 定語の訳し方

ポイント

一、定語とは

(一) 中国語の定語は日本語の限定語（連体修飾語とも言う）に当る。連語の中では主に名詞を、文中では主語と賓語を修飾する。

(二) 定語に用いられるのは主として形容詞、数量詞である。この他名詞、代詞、動詞、各種の連語も定語として用いられる。

△それはとても寒い大晦日の夜だ。

（那是非常寒冷的大年三十儿的夜里。）

△三人の同僚とも私に結婚を申し込んだ。

（三位同事都向我求婚。）

△彼女の興味は社交ダンスだ。

（她的兴趣是跳交谊舞。）

△私の行きたい所はトルファンだ。

（我想去的地方是吐鲁番。）

△誰よりも君を愛す人は私だ。

（最爱你的人是我。）

二、中国語に訳す時、注意すべき所

(一) 名詞が定語になる

1. 帰属関係を表す時と時間、場所の名詞が定語となる場合定語と中心語の間に「的」が必要である。

△私の部屋は三階にある。

（我的房间在三层。）

△これは1961年2月の「人民中国」だ。

（这是1961年2月的《人民中国》。）

2. 中心語の性質を説明する時には「的」を用いない。

△弟は音楽の先生になりたい。

(弟弟想当音乐老师。)

(二) 代名詞が定語になる

1. 人称代名詞が定語になる

(1) 帰属関係を表す時、一般に「的」が必要である。

△彼の筆は新しく買ったものだ。

(他的毛笔是新买的。)

△私の故里は信州の小さな村だ。

(我的故乡是信州的一个小村子。)

(2) 親戚、所属を表す時、「的」を省略するのが多い。

△私たちの学校は北京大学の東にある。

(我们学校在北京大学的东边。)

△私の職場はねじを造るのだ。

(我们车间是生产螺丝钉的。)

2. 指示代名詞に量詞が加わって定語となる時、「的」が不用である。

△この「球形の荒野」は図書館から借りてきたのだ。

(这本《球形的荒野》是从图书馆借来的。)

(三) 数詞、数量詞が定語になる

1. 中心語を限定する時、「的」を用いない。

△私は三本の日本刀を買った。

(我买了三把日本刀。)

2. 中心語を描写する場合は「的」を用いる。

△彼女は40才ぐらいの女の先生だ。

(他是一位40岁左右的女老师。)

(四) 形容詞が定語になる

1. 単音節の形容詞が定語となる場合は一般的に「的」を用いない。

△昨日、妹はとてもきれいな白いワンピースを一枚買った。

(昨天妹妹买了一条非常漂亮的白连衣裙。)

2. 二音節の形容詞が定語となる場合は一般的に「的」を用いる。

△彼らは幸せな生活をするようになった。

(他们过上了幸福的生活。)

3. 中心語が形容詞である修飾語は定語になれば一般的に「的」を用いる。

△青木はとても美しい娘だ。

(青木是一个非常美丽的姑娘。)

4. 形容詞「多」、「少」が定語となる場合、その前に一般的に「很」などの副詞が必要で、中心語との間に「的」を用いなくてもよい。

△たくさんの留学生が避暑山荘に行ったことがある。

(很多留学生都去过避暑山庄。)

5. 重ね型の形容詞が定語となる時、「的」を用いる。

△三日月が高い空にかかっている。

(弯弯的月亮挂在高高的天上。)

(五) 動詞が定語になる

1. 動詞が定語になる場合、一般に「的」を用いる。そうしないと、動賓構造になって、別の意味になってしまう。

△食べる物——→物を食べる

(吃的东西) (吃东西)